



# 過敏性腸症候群

(irritable bowel syndrome, IBS)

過敏性腸症候群は、お腹の痛みや調子が変わるく、それと関連して便秘や下痢などのお通じの異常（排便回数や便の形の異常）が数か月以上続く状態のときに最も考えられます。10%程度の人がこの病気であるといわれる、よくある病気です。

お腹の痛み、便秘・下痢、不安などの症状のために日常生活に支障をきたすことが少なくありません。次の症状がある場合には当クリニックにてご相談下さい。

いわい中央クリニック



## IBS診断基準（ローマⅢ基準）

- ・最近3か月の間に、月に3日以上にわたってお腹の痛みや不快感が繰り返し起こり、
- ・下記の2項目以上の特徴を示す
  - 1) 排便によって症状がやわらぐ
  - 2) 症状とともに排便の回数が変わる
  - 3) 症状とともに便の形状（外観）が変わる